

【開催目的】

- (1) 障害児についての就学前後に関わる関係機関の顔の見える関係づくり
- (2) 発達障害に関する支援の取り組みの情報共有
- (3) 子どもや保護者からの各種相談を受ける立場から、地域課題の抽出、整理
- (4) 相談支援会議で抽出された地域課題の検討

【目的達成のための目標】

- ・障害児に関する関係機関が、他の機関と連携していくために、それぞれの役割を知る。
- ・障害児に関する関係機関が、障害児を抱える家庭の課題を整理することができる。
- ・児童発達支援センターが、地域の中核的な支援施設として、児童発達支援事業所等と密接な連携を図れるような仕組みを作ることができる。

【参加機関】

総合相談支援センターぱれっと、相談支援センター拓未、きかん車、周南市スクールソーシャルワーカー・徳山総合支援学校小学部地域コーディネーター、市学校教育課、市障害者支援課

【会議での主な内容】

- (1) 学校と福祉の連携について推進していくための具体的な方法の検討
- (2) 児童発達支援センターの役割や事業内容の周知、市内の児童発達支援事業所へのアンケートを実施。
(第2回目実施以降、2つのグループに分かれて内容の検討を行った)

【協議内容】

開催回数	月日	内 容
第1回	8月8日	(1) 学校と福祉の連携についての現状把握の方法について (2) 地域の障害児通所支援事業所の現状把握の方法について
第2回	9月24日	(1) 学校教育課主催の研修に教育部会として参加し、障害福祉サービスや相談支援専門員の役割について周知。今後の取り組みについて検討 (2) 次年度に市内の児童発達支援事業所を集めての情報交換会を実施するため、事前にアンケートを実施予定
第3回	12月12日	(1) 地域の学校(教員)へ障害児の支援の現状について把握するための方法を検討。 (2) 事業所へのアンケート内容の検討
第4回	2月28日	(1) 学校への聞き取りの内容・福祉の周知のための資料の検討 (2) 事業所アンケートの結果をもとに来年度の情報交換会の時期、内容について検討

【令和7年度の予定】

《継続内容》

- ・学校と福祉の連携の推進し、就学後の障害児にまつわる課題についてそれぞれの立場でできることや支援方針を共有する。
- ・令和6年度に実施した事業所アンケートをもとに、市内の児童発達支援事業所の情報交換会を行い、それぞれの特色や問題を把握する。